



戦への二期決 強く団結やぐら建て

日刊 勤労千葉

82,1,22

No. 949

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(八条) 〇三三二七二〇七

去る一月十七日、二期工区敷地内・天神峰現地闘争本部と「団結街道」の中心に、二期決戦へのあらたな決意を込めて、より頑丈な四本柱の団結やぐらが建て直された。

9時30分、起工集会から開始されたやぐら建ては、北原事務局長の起工宣言で始まり、柱となる太い杉の丸太44本の提供者、各部落の反対同盟員が紹介され、はるばるかけつけた支援の中から、天台宗僧侶でもあり、群馬実行委員会代表でもある青柳晃玄氏によって地鎮祭が行なわれました。

胸がわくわく決意が湧きでる

この日の建築と・う・り・う・に選ばれた東部落の同盟員・小川徳太郎さんは「重要な闘争のシンボルとも言えるやぐら建ての・う・り・う・に選ばれ、昨夜は胸がわくわくして眠れず、同時にすごい決意が湧いてきた」と胸の内を発言しました。ドラム罐とサイレンを合図に石毛常吉さんの力強い号令一下、十時一斉に作業にとりかかりました。敷地内の同盟の人達の顔がほころんだ。天神峰の石橋委員長代行、加藤清さん、加藤俊宣さん、石毛常吉さん、市東東市さん、木の根の小川源さん、横堀の熱田一さん、等々反対同盟員約八〇名を中心に、これに支援の各団体の人達約三五〇名が参加し、約6時間かけて直径25cmの杉の丸太柱を三段に組み合わせた高さ12mという見事なそして頑丈なやぐらが三里塚の大地に、しかも二期決戦の拠点天神峰の大地にしっかりと建ちました。

建ったやぐらに感激とあらたな決意 Ⅱ いざ、三・二八へノⅡ

石橋委員長代行あいさつ 十六年の闘いで4回目の建て替えであるが、今回のやぐらが一番堂々としています。とくに秋葉哲さんが決意をこめて提供してくれた土台の4本の柱で実に頑丈なやぐらが建ちました。このやぐらに見えらって、大地に根を張って頑張っていきたいと思えます。この4本の柱は必ず大地に根をはやす。苦難の道を歩んできましたが、このやぐらこそ反対同盟の姿です。そしてすべての皆さんがこのやぐらがたおれないよう支えてほしい。共に頑張る決意をあらたに闘っていきましょう。

熱田副行動隊長あいさつ「話し合い断固拒否」



で闘う。力強い4本の土台柱をみよ。この三里塚の大地に力強く建った。敷地内同盟の人達だけでなく、すべての同盟員がきたるべき決戦には、かけつけて闘う。卑怯な手段をとって、切り崩しを策する公団・服部を弾劾する。

参加した支援の人達を代表して、東京都杉並区議・長谷川英憲さんのあいさつ 団結のシンボル・二期阻止のシンボルが強固にうち建てられた。先日の東京実行委員会私達は、現地闘争を連日決起で闘う事を決定しました。三・二八には一〇万人を結集することが重要です。必ず実現します。そして軍事大国化・改憲を阻止する意味でも頑張らしましょう。

市東さん宅そばに大看板、立つ

こうして、それぞれの感激と二期決戦への決意もあらたに祝賀会に入り十九時まで続き、工事も含め成功を勝ちとったことを報告します。

尚、同時に、敷地内市東東市さんの家のそばに縦2m・横25mという堂々たる大看板「空港粉碎ノこの地にB滑走路は作らせない」、がうちたてられました。(写真・上)

こうして、着々と現地は、来たる二期決戦に闘う準備が進んでいます。3・6(勤労千葉主催)全国労働者集会の圧倒的成功をかちとり、3・28へ、労働者の巨万の大結集を実現するために奮闘しよう。

おわびと訂正



1月21日付「日刊」中、号数とカラオケ大会参加者氏名に誤植と脱落がありました。号数Ⅱ(正)九四八号。参加者氏名Ⅱ(正)岩瀬孝一、吉野六郎(勝浦)です。おわびして訂正いたします。